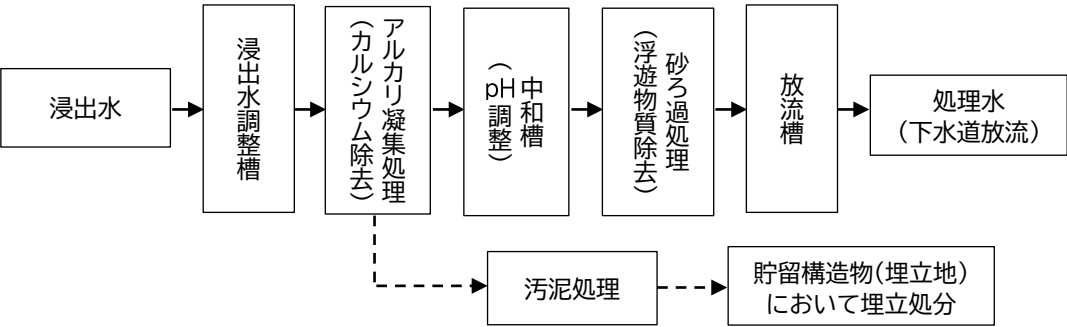


1.浸出水の処理工程

浸出水は、浸出水処理施設において、アルカリ凝集処理によりカルシウムを除去した後、中和槽で pH 調整を行い、砂ろ過処理により浮遊物質(SS)を除去します。その後、放流槽にて流量を調整した上で、処理水を下水道へ放流するものとします。なお、アルカリ凝集処理により発生する污泥は、貯留構造物(埋立地)において埋立処分するものとします。



※ダイオキシン類については、砂ろ過処理により浮遊物質(SS)とともに除去される。なお、その他の計画放流水質項目(表 1)については、処理前の浸出水がいずれも基準値以下となる。

図 1 浸出水の処理工程

2.浸出水の計画水質

埋立地から発生する浸出水については、下水道法の水質基準を踏まえ、計画放流水質を表 1 のとおり設定します。浸出水は、浸出水処理施設において計画放流水質以下に処理した上で、下水道へ放流するものとします。

表 1 浸出水の計画放流水質

項目	単位	計画放流水質	(参考) 新発田広域エコパーク浸出水測定 (R7.7~8 月測定)
水素イオン濃度(pH)	—	5.0~9.0	9.1~9.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	600 未満	63~110
浮遊物質(SS)	mg/L	600 未満	14~23
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油)	mg/L	5 以下	2 未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油)	mg/L	30 以下	2 未満
温度	℃	45 未満	17.5~22.2
よう素消費量	mg/L	220 未満	140
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10 以下	0.053

【用語説明】

- ・pH ⇒水質の酸性度やアルカリ性度を示す水素イオン指数(7 が中性)。
- ・BOD ⇒有機物を分解する際に微生物が消費する酸素量。有機性の濃度を表し水質悪化の指標。
- ・SS ⇒水中に浮遊している不溶性物質の量。水の濁りの指標。
- ・ノルマルヘキサン抽出物質含有量 ⇒水中の油分を表わす指標。魚類の死滅や異臭原因に関係。
- ・よう素消費量 ⇒下水排水等において水の還元性を表す指標。管路の腐食や硫化水素発生に関係。